

森からのおくりもの

コウヨウザンの間伐等を実施

辛川山コウヨウザン試験地

四万十森林管理署管内の辛川山^{からかわ}国有林一
二七一一一林小班内に、平成二八年六月「辛
川山コウヨウザン萌芽更新試験地」（森林総
合研究所林木育種センターとの共同試験地）
を設定しています。（写真上）

コウヨウザン（ヒノキ科）は、中国・台
湾原産の常緑針葉樹で萌芽（写真上 旧川
崎署管内の萌芽の様子）が旺盛であり、早
生樹として西南日本地域に適した造林樹種
として期待が高まっています。（写真下、萌
芽更新試験地内）

このような中、二月二〇日（火）から二
三（金）にかけて、間伐・除伐等を実施し
ました。

二〇日には、四万十署職員等の協力を得
て、林木育種センター職員が調査等を実施
する試験木を採取しました。

今後、樹幹解析、材質調査、燃焼実験、
ぼう芽調査、シカ食害対策等を予定してい
ます。



誌上 森林環境教育

木の中のリス

人数

30人以上

隊形

3人組で適当に散らばる

進め方

- ①3人組を作り、2人が両手をつなぎ木に。残った1人が「リス」となり、その中に入る。
- ②3人組になれなかった人は「オオカミ」
- ③リーダーの「**オオカミが出た**」の合図でリスは他の木に、木は動かない。
- ④オオカミ役はリスが移動の間に、空いている木に入り、リスに変身。
- ⑤入る木のなくなったリスはオオカミ役に。
- ⑥「**木こりが来た**」の合図で、木の2人は移動して新しいリスを（リスは動かない）。
- ⑦「**嵐だぞ**」の合図で、3人組をくずして新しい3人組を。
- ⑧以上の3つの合図を繰り返して行う。
（レクリエーション入門 日本レク協会）

編集後記

三月に入るとともに、暖かい風が。
木々の新芽や草花の花も鮮やかに。
少しは身体を動かしてみるか。そんなこの頃。



「シジュウカラ」 って

春、街を歩いていると、公園の木のかすえや電線などに止まって、「ツツピー、ツツピー」と盛んにさえずっている鳥がいます。



シジュウカラです。（写真）
枝から枝へと軽快に動きまわるスズメよりやや小さな鳥。よく見ると黒い頭に白いほお、そして胸に黒いネクタイを締めた、なかなか粋な姿をしています。

シジュウカラは、日本各地の林や街の中などで一年中見られるが、秋から冬にかけては他のカラ類やメジロ、コゲラなどと一緒に群れを作って生活。しかし、春から夏にかけての子育ての時期には、「雄・雌でつがいをつくり、縄張りを持ち、”ツツピー、ツツピー”とさえずっているのは、この縄張りを宣言している歌。この縄張りに他のシジュウカラの雄が侵入すると激しく追い散らしたり威嚇する。このケンカをした場所やさえずっていた場所を地図上に書き入れ、それを線で繋ぐとそのシジュウカラのつがいの縄張りの範囲が分かる。（街の自然観察 矢野亮より）